

# サクラマス幼魚を放流しました

1月27日(火)、富山市成子地先(神通川左岸成子大橋上流の西派川)の人工水路(越冬場所)でサクラマス幼魚、約3千匹を放流しました。

これは「第35回全国豊かな海づくり大会～富山大会」の協賛行事として行われたもので、国土交通省富山河川国道事務所の他、富山漁業協同組合、富山県農林水産部水産漁港課、富山県農林水産総合技術センター水産試験所の方々が参加し行われました。

当日は、あいにく雨の中でしたが、参加者の皆さんがバケツリレーなどによって無事、3千匹に及ぶサクラマスの幼魚を川へ放流することが出来ました。

今後は、サクラマスの生息環境調査などを行っていく予定です。

富山河川国道事務所では、神通川の自然再生事業に取り組んでおり、自然再生に有効であると思われる『指標』を「サクラマスが棲めるような生息環境の再生」に設定し、淵(越冬場所)や人工水路(越冬場所)を造成・整備を行っています。

※サクラマス幼魚 → 生後1年経過した体長10cm前後のもの

※サクラマス → 富山県が編集・発行している『レッドデータブックとやま』で“準絶滅危惧”に選定されている

